



NO.

いちよう

発行所

待乳山 本龍院

〒111 東京都台東区浅草7-4-1

-0032 TEL. 03(3874)2030

FAX. 03(3874)5280

全身全霊で

住職 平田真純

コロナ禍の長期化によって、個人的にも社会的にも、とても厄介な事態になってしまいました。現在の苦難を乗り越えることと、よりよき将来を築くこと、両方を考えなくてはなりません。しかしそれを考えるにも、何か基本となる拠り所がなければ、雲をつかむような状態になりかねません。

神仏を敬うことは、心の拠り所として、ものごとの核心をとらえる一助となることでしよう。智慧浅き私でも、そこには確信を持っています。ただし、ただ敬えばよいというものではないとも思っています。参拝や祈願によって何かを得よう、ご加護をいただこうと思ったら、それなりの心構えが必要です。

神仏を拝むときのとるべき心構えを言葉で表現するのは難しいことです。大切な祈願、特に聖天様に対する祈願ではなおさらです。それでもあえて言葉にするなら、「全身全霊」ででしょうか。

「全身全霊」といっても、忘我の境地、取りつかれたような境地ということではありません。私心を待たず、すべてを聖天様に託する、預けるといことです。欲や願望などの邪念は、とりあえず脇へ追いやります。何か具体的な願いごとがあるときは、それを念じた方がよいと考えがちですが、実は逆です。心を鎮めるのが参拝の基本です。

「全身全霊」で聖天様を拝すれば、自身の生活の中にも、必ず何かしらの御利益はあると思います。しかしそれは聖天様のお力をお借りしているのであって、ゆめゆめ自分の力だと勘違いしないことも肝心です。いつも聖天様と共に歩んでください。

緊急事態宣言下で、現在は参拝もままなりません。ご自宅であっても、御札等の前で、あるいは待乳山の方角に向かって「全身全霊」で手を合わせる訓練を心がければ、一層大きなご加護がいただけることでしょう。そのご加護の回向によって社会がよくなるのが聖天様の御本誓であります。

待乳山便り

お正月報告

年が明けた元日午前0時、例年通り半鐘の音と共に開堂されましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため堂内並びに境内参拝の制限を設けさせていただき、参拝者の皆様にはご不便をおかけしたと思われませんがご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

本年は新春恒例の『大根まつり』が中止となり、全世界が待ち望む一日でも早い疫病収束を祈願し、『国難消除祈願法要』を執り行いました。



コロナ禍での正月風景



正月特別祈禱報告

例年ですと一日、二日、三日の三が日に午後十三時、十四時、十五時の三座に分けて執り行っておりまして正月特別祈禱法要も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一日、十一時一座のみ、願主不在僧侶のみで厳修いたしました。

二月御縁日大法要 行事紹介

節分会 二月二日(火) 午前十一時

節分札一組 五百円
福豆 一合升 五百円 一升升 三千円
(売れ切れ次第終了)

この一年の厄を払うため、二月二日午前十一時より節分会法要を執行いたします。またコロナウイルス感染拡大防止のため、本年はご信徒の皆様は法要随喜をご遠慮いただきます。外陣や神楽殿での豆まきは活気があり、楽しみにされていたご信徒様も多いかと思われませんが、どうぞご理解ご協力お願い申し上げます。

御奉納

- ① 松本達郎様より参道入口の大提灯を二張御奉納いただきました。
- ② 西川晃敏様より内陣焼香に用いる経机を二台奉納いただきました。
- ③ 三崎登子様より内々陣結界における御簾をご奉納いただきました。

ご奉納賜り誠にありがとうございます。



山門提灯



内陣御簾



焼香机

朝まいり会七十周年記念冊子について

二月七日に行われる朝まいり会七十周年記念法要に先立ちまして、記念冊子をお配りしております。会員の方は本堂にてお授けしておりますのでお声かけください。

庭園について

寺務所の脇の成就橋を渡ると庭園が広がっており、冬の終わりにカワヅザクラから始まり、しだれ桜、ツツジの花、藤の花が咲き、秋には紅葉の紅葉、冬には椿が咲き、季節ごとの風景を楽しむことができます。

その風景は、平成十八年に境内整備の際に成就橋がかけられ一般の御信徒の方が自由に行き来できるようになってから多くの方に親しまれております。

スカイツリーが出来てからは、成就橋を渡ると、目の前に歴史ある日本庭園と日本一のスカイツリーが目の前に現れ、人力車の方を始めとして人気の撮影スポットにもなっております。



現在の形の庭園は明治初年頃に構築されたと言われておりますが、それより前の江戸時代には、弁天様がおまつりされていたとの記録がいくつかあります。江戸名所図会には「弁財天祠 山の麓、池の中島にあり。平政子崇尊の霊像なりといへり。」南無観世音金龍山縁起には「鎮守弁財天弘法作政子御前守仏と云」とあります。

待乳山の中庭の池にはかつて北条政子によって弘

法大師作の弁天様がおまつりされていたようです。

この庭園の池に関する逸話はほかにもあり、第二次世界大戦の東京大空襲の際にはこの池に飛び込み助かった方も多かったようです。

信徒会館が落成した昭和四十

八年までは、庭はもう少し広く、現在は主に信徒会館の広間で行っている講の催し物などは庭で行っております。

信徒会館落慶

後の昭和五十年、池泉改修が行わ



中庭で行われた歓喜講のイベントの様子（昭和46年）

れた際に、地藏尊の尊像が発見されました。その尊像が現在庭園に安置されている地藏尊です。

お参りの際は、この庭園に立ち寄っていただき、この地藏尊にも手を合わせていただければと思います。

緊急事態宣言に伴う開堂時間短縮について

緊急事態宣言の発令に伴いまして、期間中の開堂時間を午後三時までに短縮しております。

ご祈祷のお申込みはホームページよりメールフォームでも出来ますのでご利用下さい。講や合同大般若のお申込みは honryuin@matsuchiyama.jp（お名前とご住所お送りが必要な場合）をお知らせください。

諸行事再開にあたって

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止ならびに自粛してまいりました諸行事を9月より再開致しました。すでにご存じの信徒様も多いかと思われませんが、参加方法、注意点を改めてご案内致します。

朝まいり会・写経の会

朝まいり会、写経の会は予約制となっております。朝まいり会は毎月一日から七日の中からお一人一日のみ参加できます。定員は一日十名です。

写経の会は十一月より第二日曜日とその前日の土曜日の計二日、それぞれ定員二十八名の午前十時の会のみ開催です。

朝まいり会、写経の会の予約は専用電話番号にてご本人のみ受付いたします。

毎月十五日より翌月分受付

予約電話番号 ☎ 080-7419-1297

朝まいり会はライブ配信がございますので、ご利用ください。

諸講、合同大般若法要

当面の間、当山僧侶のみで執り行ないます。

ライブ配信がございますので、

ご利用ください。

お申込み頂いたお札、お供物等は法要終了後受け取り可能です。

日曜勤行、坐禅の会

当面の間、中止とさせていただきます。



法要



朝まいり会

二月行事予定

御縁日大法要

節分会

二月二日(火) 午前十一時

節分札一組 五〇〇円也

僧侶が一年分のお経をお唱えする中、年男による豆まきが行われます。法要中は本堂内には入れません。また参道、神楽殿での豆まきは御座いません。

法要は僧侶のみ、豆まきは信徒総代で行います。境内での参加はできませんのでライブ配信をご利用ください(詳しくは三面をご覧ください)

福枡(福豆付) 一升枡 三、〇〇〇円 一合枡 五〇〇円

朝まいり会七十周年記念法要

記念法要並びに、記念モノメントの除幕式を執り行います。法要はライブ配信いたしますのでオンラインでご参加ください。

浴油講大法要

二月二十日(土) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也
毎朝の浴油祈禱に使う胡麻油をお供えします。法要は僧侶のみで行います。ライブ配信をご利用ください(詳しくは三面をご覧ください)

朝まいり会

二月一日〜七日 午前八時から八時半会 費 五〇〇円也

写経の会

二月十三日(土)・十四日(日) 午前十時 会費 五〇〇円也
※事前予約制 詳しくは三面をご覧ください

合同大般若法要

二月二十五日(木) 午前十一時 法要料 五、〇〇〇円也
心願が成就し、より一層の御加護を頂くために、皆さんと一緒に上げる御礼の法要です。法要は僧侶のみで行います。ライブ配信をご利用ください(詳しくは三面をご覧ください)

三月の行事 御縁日大法要

稲荷祭 三月二十三日(火) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也
婦人講 三月二十日(土) 午前十一時 講金 一、五〇〇円也

ご祈禱のご案内

聖天様独特の供養法である浴油供は、密教の中で最も深秘の法とされています。この供養法は聖天様のお力がより一層高められ、私どもが不可能と思われるような願い事でも、尊天様の不思議方便のお働きを得て、必ず成就させて頂けるのであります。

当山ではこの浴油祈禱を、毎朝開堂と同時に厳修しております。寺務所にて受け付けておりますので、お名前とお願いの内容、祈禱期間をお伝え下さい。またご遠方の方やお急ぎの方は、お電話やお手紙でも受け付けております。どうぞお申込みください。

祈禱料

別座祈禱 壱万円(二週間)
浴油祈禱 三千五百円(二週間)
華水供 五百円(一日)

法要案内

当山では予約にて法要を行っております。寺務所にてお問い合わせください。

百味供養 法要料 八万円

沢山のお供物をお供えし、出仕の僧侶が声明をお唱えすることで、尊天さまに御礼の供養をいたします。

大般若法要 法要料 五万円

所願成就御礼の法要として、大般若経六百巻を転読いたします。

自動車加持 法要料 壱万円

当院にてお車のお加持をいたします。当日はお車にてお越しください。

皆様からのご質問、お知りになりたいことを受け付けております。
ご意見やご質問は ikyoun@matsumichiyama.jp までメールをお送りください。